

2009 Report from **FD** Salon of RUCED

09-3

龍谷大学 FDサロンレポート

第3回FDサロン

新任教育職員対象「FDサロン」

第1回：2009年9月16日（水）12：35～13：25

瀬田学舎 智光館201号室 共同研究室

第2回：2009年9月17日（木）12：20～13：10

深草学舎 紫英館2階 第2共同研究室

参加対象：今年度着任された教育職員

FDサロン —新任教員研修フォローアップ—

理工学部教授 林 久夫

本学では年度初めに、新しく着任された先生方に対して「新任教員のための研修会」を実施しています。この研修会では、本学の教学理念・特色、大学教育開発センターの活動、研究方針・政策などについて担当者から説明が行われます。この導入教育により、新任の先生方に本学教員としての心構えと基礎知識を知っていただき、スムーズに本学での教育・研究を始めていただくことを目指しています。しかしながら、この研修会は一回限りですので、後は個々人で所属学部のFD研修会などに参加し、研鑽を積んでいただく必要があります。

そこで、大学教育開発センターでは、今年度から指定プロジェクトの一環として「新任教員の研修プログラムの開発」を推進することになりました。これまで以上に体系的なプログラムを提供し、教員のキャリア開発に資することを目指しています。

今回のFDサロンはこのプログラム開発のための基礎資料を得ることを目的として企画されました。この春着任された先生方にもう一度お集まりいただき、着任後約半年を経た今、ようやく見えてきた本学の教育・研究の問題点や4月の新任研修会の課題について、忌憚のないご意見を聞かせていただこうというものです。したがって、このサロンは新任研修会のフォローアップでもあります。

お忙しい出席者の便を考え、サロンは深草と瀬田の両

方で開催することにし、昼食を取りながら歓談するという形式を取りました。その中で多くの貴重なご意見をいただきました。これらについては、ご出席いただいた先生方から直接ご報告いただきますが、特に印象的であったのは次のようなご意見でした。

- ① 新任教員研修会は大変有意義ではあったが、開催時期が一番忙しい期間にあたる。一度に聞いても効果が薄いので、教育研究の進行にしたがって何回かに分けて、適宜情報提供されると有難い。すぐに必要な教材の準備の仕方などは最初に説明してほしい。
- ② 着任後すぐに教育研究をフル稼働させたいののだが、その支援体制が整っていない。これではせっかくのやる気が殺される。例えば、ただちに必要なパソコンの貸与と設定に時間がかかる。必要なものがどこにあるかわからない。研究室がすぐ使える状態になっていない。ひどい場合には、前任者の荷物が置きっぱなしになっていて、研究室が自由に使えない。

その他、授業の問題として、本学では私語が異常に多いことなどが指摘されました。

このように、今回のFDサロンは大変有意義な情報交換の場となりました。中でも今後の課題として以下の二つの点を強調しておきたいと思います。一つは、新任研修会のフォローアップを今後も何らかの形で継続すべきであること、二つ目は、新任教員から得られた新鮮なご意見をいかにして大学全体で共有するか。そのシステムを検討する必要があるということです。大学教育開発センターが今後これらの課題に積極的に取り組んでいけることを期待しています。

社会学部 教授 大塩 まゆみ

新任教員に向け、昼食付きのFDサロンが9月16日(水)にありました。参加し、とても良かったです。

学生からの授業評価の結果を上げるために良い授業をしようという動機付けが私にはまったく働かず、学生に愛情がわかないと、授業への意欲が出ません。しかも、学生への愛情が芽生えるには、大学の新任教員受け入れ態勢が良く、教員生活の環境が整うことが前提として必要です。今回のFDサロンは、この大学で適応していくため自らの心構えをつくるのに、役立つように思います。

私は、声量がなくマイクを使っても声が聞こえないと言われ、腕力が乏しく板書の文字が薄いと言われるので、視聴覚教材の活用により学生の関心を喚起したいと考えています。しかし、本学は、残念ながら、ゼミ用教室でビデオやDVD・OHCを使えないので、設備や新任教員の受け入れ態勢の充実等を本サロンで要望しました。大学教育開発センター長も事務職員の方々も理解力豊富で寛容だったので、普段なら言いにくい意見もお伝えすることができました。参加者が少人数だったこともあって話しやすく、他学部の先生方とも意見交換でき、満足しています。最後にこのような場を設けてくださったことに心から感謝申し上げます。

文学部 講師 岡田 典之

実はFDに関しては、これがfaculty developmentの略語であって、おそらく教育管理評価の手法の一つだろうという程度の認識しかなく、その具体的な内容も思い浮かばないような状態でしたので、新任教員のフォローアップとしてのFDサロンとは一体どんなものだろうという好奇心から参加させていただきました。内容として

は、着任時の研修について役立つ点、改善が望まれる点などについて、また着任後に研究・教育面だけでなく、ごく日常的な部分で戸惑ったこと、分からなかったことなどについて、出席者の先生方のお話を伺えたのが大いに参考になりました。こうした情報交換の場を設けて、教員が活動しやすい環境を作っていくことがFD活動に含まれているというのも新たな発見で、意外にも柔軟で幅広いのがFDの概念なのだとなんげか思えました。ところで、なぜ私がFDについてよく知らなかったのかというと、自分の不勉強は別にして、これまで非常勤講師として、各大学が行っているFD活動に参加する機会が極めて少なかったことが理由の一つに挙げられます。特に語学教育において、非常勤の先生方抜きに制度が成り立たない現状を考えてみれば、FD活動についても専任・非常勤を問わず情報が広く共有されるようになることが必要であり、さらに多くの人が気軽に参加できるような時間帯や場所、形態でFDが展開されることが望まれるのではないかと思います。

文学部 特別任用教授 葛野 洋明

今春より特任教授として就任させていただいたことから、FDサロンに初めて参画させていただきました。

大学における教育は、専門性が高く、教育方法についても各専攻や分野によって随分異なっています。それぞれの研究分野の研究者が、自らの経験に基づき最善と考えられる教育方法をとっているのが現状と思います。

大学がより充実した教育が展開されるようにと、さまざまなシステムを用意しサポート体制を充実させていることを知ったとき、そのシステムやサポートを十分に活かした教育ができているかと自問自答してみると、至らないことがまだまだあることに気付かされました。



また、自らの専門分野とは異なる研究や教育については、その方法論や工夫も知らずにいるのが現状ですので、さまざま研究分野の最先端を歩んでおられる先生方との情報交換をさせていただけることは、意義深いことを感じました。

今後は、高等教育の専門家などから、専門的な意見などを拝聴できれば、さらに充実するのではないかと思ったことです。

理工学部 教授 金子 康智

大学院修士課程修了後、約30年間企業の研究所に勤務した後、本年4月に龍谷大学に赴任し、FDという言葉初めて耳にしました。企業時代にも、若手エンジニアを対象にした講義を行っていましたが、受講者は上司から推薦された社員であり、業務の一環として受講していましたので、学ぶ側も教える側も本当に真剣でした。

大学に着任し、学生相手の授業を始めると、予想はしていましたが学生のレベルや受講態度が企業時代とは全く異なり、一方的に知識を与える講義をしても効果が少ないと思い始めていました。

そのような時に初めてFDサロンに参加しましたが、同じような思いをされている新任の先生方が多いことに安心すると同時に、現実を正しく認識して、学生に合わせた教育に変えていく必要があると改めて感じました。

学生の立場から見た質の高い授業を行っていくためには、現状の問題点を正しく分析し、個別の対応と同時に組織的な取り組みをしていくことが必要になると思います。問題点を把握するためには、FDサロンのような現場の生の声を聞く機会を増やして頂くことが一番であり、今後も継続して頂きたいと思います。

文学部 教授 滝内 大三

30年間も教員生活を送りましたが、年々授業が下手になっていくことを自覚し、「FDサロン」に参加しました。新任教員として、研修内容に気付いた点があれば発言するようにとのことで、みなさん共通していたのは、短い時間に盛りだくさんの内容で消化不良だったとの思いでした。文書の配布やレクチャーだけでは聞き流してしまいがちになります。文学部教員の場合、できれば大宮学舎で教室の位置や教材作成の場所、情報機器の設置状況や利用法、本学学生の傾向と注意点など、できるだけ具体的に指導してもらえるとありがたいです。

大学によって情報処理システムに違いがあるので、最初の1年間は授業でパソコンを使った授業をする場合、ティーチング・アシスタントを付けてサポートしてもらえ



ば、まごつくこともなくなるでしょう。また卒論指導や大学院生・社会人ゼミなど、研究室を使用して指導することが多いので、その点の配慮もあればベストだと思います。私は特任教員で教授会に出ることもないので、こうした場で先生方のご意見を伺い大変参考になりました。

理工学部 准教授 富崎 欣也

本年4月に理工学部物質化学科に着任しました富崎です。今回初めてFDサロンに参加しました。今回の会合では、新任教員による着任時の手続きや龍谷大学での講義中の学生の私語について話題提供がありました。私の着任時の手続き等は比較的円滑に進んだと思いますが、他学科では3月末の荷物搬入時にも使用予定の部屋が準備されていなかったそうです。また、パソコンのレンタルが4月中旬以降となり、授業準備に手間取ったという方もいらっしゃいました。特に新任教員については、円滑に授業準備を進めるためにも、入室時点でパソコンが設置されていることが望ましいと思います。

授業中の私語については、多くの先生は酷いと感じていらっしゃるようです。私も例外ではなく、特に授業開始直後に私語が多いなと思っていました。しかし、板書を始めるとかなり静かになり、ヒソヒソ声程度になりました。それでもヒソヒソ声は止みません。そして気づきました。ヒソヒソ声は学生自身が黒板に書かれた文字あるいは内容の識別が困難なときに、近くの友達に聞いたり確認したりしている声が多数を占めるということに。試しに、「見えない人は前の席でノートを取りなさい」というと、幾人かは前へと移動しヒソヒソ声は小さくなりました。他にも、いつもより板書の字を大きくしたり、丁寧に書いたりして、学生の反応を探っています。試行錯誤中です。



文学部 教授 那須 英勝

新任教員対象研修に参加しました。普段は講師控え室などでも、専門の近い同僚の方とだけしか話しませんので、別の分野の先生や職員の方々と直接交流ができるFDサロンがあるのは有り難いことです。龍谷大学は教育研究環境が整い素晴らしいのですが、4月に着任してから、設備や道具の使い方を覚えるのに時間がかかりました。また、新入生からは、キャンパスの施設から履修に関することまで、様々な質問をされますので、そういう場合にも対応できるように、困った時の問い合わせ先など記した、「新任教員用のキャンパス活用マニュアル」のようなものを作成頂けたら有り難いです。

経営学部 講師 濱田 崇嘉

去る9月17日、新任教員対象FDサロンに参加させて頂いた。サロンは、「着任して半年が経った今、教育・研究面において何か不明な点はないか、または要望はないか」という問いかけに答える形式で進められた。参加された先生方から出された意見・感想として、特に多かったのは、「教育・研究活動に必要な大学施設の詳細な利用方法およびその問い合わせ先が最初のうちは分からなくて困った」というものである。私見としては、今回のサロンで出された具体的な意見・感想をもとに、新任教員向けの研修をさらに充実させることで、問題の大部分は解決できるのではないと思う（例えば、着任日に行われる新任教職員研修の一部は教員のための研修とする等）。

今回、サロンに参加して、参加された先生方の貴重な意見を聞くことができ、大変参考になったが、参加した新任教員は6名のみであり、さらに職員の参加者は1人もいなかったことは、非常に残念に思う。今後は、多く

の先生方または職員の方々の本音が聞ける場としてFDサロンを活性化して行って欲しい。

理工学部 教授 三好 力

大学教育開発センター主催の新任教員対象FDサロンに参加いたしましたので、その概要をご紹介します。全体を通して和やかな雰囲気、活発な話し合いがありました。主な話題を以下のとおりです。

1. 学生の私語について

他大学から赴任された先生から、前任の大学に比べて講義時間内の学生の私語の多さに大変ショックを受けた、とのご発言がありました。関連コメントもいくつかありましたが、よい解決策やアドバイスは残念ながら得られないで終わることになりました。

2. 過剰なFD研修会について

前任の大学がFD活動に熱心だった大学から赴任された先生から、合宿研修会など多くのFD研修会が開催され、多くに参加してきたが、だんだんその効果を実感できなくなり、参加することに疲れてしまった、とのご発言がありました。大学として節度ある活動をお願いすべきということで意見が一致しました。

3. 赴任時の設備について

複数の先生から、赴任してみると研究室に多くの荷物が残っており片付けに手間がかかった、電話機が破損しており困った、研究部からの貸出パソコンが赴任から数ヶ月後でその間の授業準備などに不自由した、貸出パソコンのネットワークへの接続で接続のための情報がわからず苦労した、などの苦言がありました。今後赴任される方が不便を感じないように対応を検討していただくことで意見が一致しました。

FDサロンレポートとは

大学教育開発センターでは、教職員間の交流の場として、各種の教育活動の経験や意見が話し合えるように「FDサロン」を2002年10月から開催しています。

大学教育開発センターの運営に関わる教職員が、話題提供者をコーディネートし運営されています。話題提供者のお話を耳を傾け、お茶でも飲みながら自由に意見交換等が行える機会として定着してきました。しかし、開催時間や開催場所の問題から、参加ができないとの声も聞かれます。そのようなことから、FDサロンでの話題をもっと全学に還流させ、FDの取り組みを深めていくためにFDサロンレポートを発行することといたしました。

FDサロンレポート 09-3

発行日:2010年2月

発行:龍谷大学 大学教育開発センター

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

TEL. 075-645-2163 FAX. 075-645-2190

<http://www.ryukoku.ac.jp/faculty/fd/index.html>